



東急不動産

ReENE

東急不動産の再生可能エネルギー事業 [リエネ]

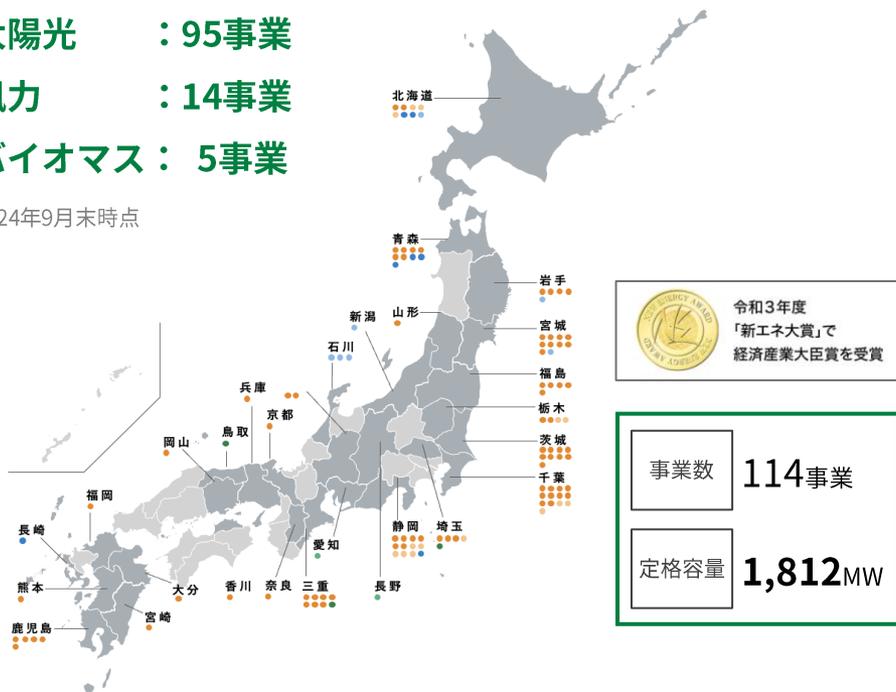
- 社名(商号) : 東急不動産株式会社
- 本社所在地 : 東京都渋谷区道玄坂1丁目21-1
- 事業エリア : 日本全国・海外
- 定格容量 : 1,812 MW (全国114事業)
- 公式HP : <https://www.tokyu-land.co.jp/>
<https://tokyu-reene.com/>

再生可能エネルギー事業のポートフォリオ

取組み概要

- 太陽光 : 95事業
- 風力 : 14事業
- バイオマス : 5事業

2024年9月末時点



対象エリア

全国

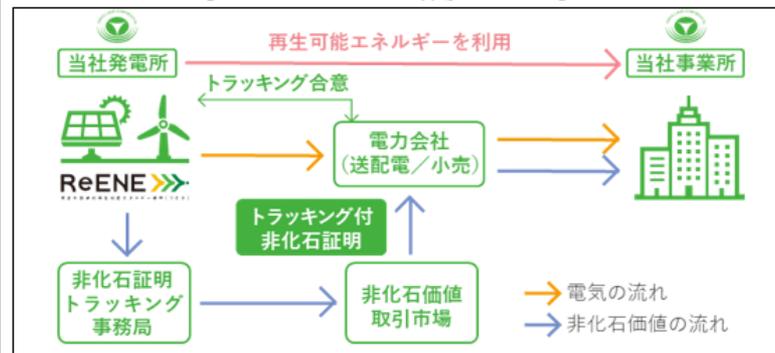
RE100の達成に向けた取組み

取組み概要

不動産業で初のRE100加盟を宣言、事業活動で消費する電力を100%再エネへ切替え完了(2022年)

- ・ オフィスビル・商業施設・ホテル及びリゾート施設等、対象とする当社保有資産すべて(約244施設)を、**自社発電所由来の再生可能エネルギーへ切替完了**
- ・ 切替後は年間約15.6万トン(一般家庭約8万世帯分)の電力使用量に相当するCO2削減の効果

【再生可能エネルギー切替導入スキーム】



取組みモデル：屋根上太陽光事業（PPAモデル）

取組み概要

- ・自社/他社保有施設の屋根上太陽光事業
- ・発電した電気はFIT売電/非FIT売電/自家消費等を実施（PPAモデルにより建物オーナーは発電設備の設置・維持管理コストゼロで事業実施が可能）

<カーポート屋根活用>



仙台空港

<物流施設屋根活用>



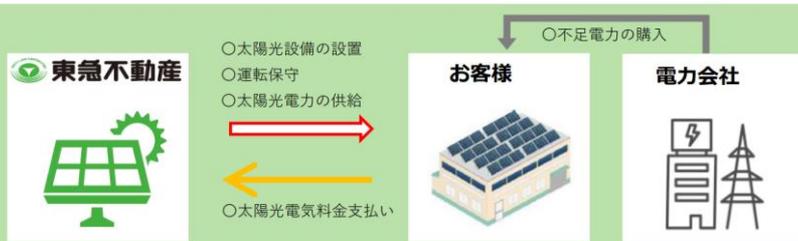
リエネLOGI'Q枚方

<公共施設（学校）の屋根活用>

2023年2月

横浜市内53校のPPA導入事業の事業者採択

対象校のCO2削減量 約26% に貢献



事業者	東急不動産
協力者	（プロジェクトにより異なる）
対象エリア	全国

再生可能エネルギー事業のポートフォリオ

取組み概要

生再エネの短期利用を実現

リエネでんき

powered by DG

【サービスの特徴】

下記のお客さまにメリットのある電力サービスです

電気代高騰でお困り

再生エネを導入したい

短期契約OK

最終保障供給契約中
まずは数か月試したい

長期間のPPA契約は
敷居が高い

基本料金なし※1

値上り要請を受けた

余計な費用は
かけたくない

電気の質で
プランを選べる

メリハリのある
電力使用パターン※2

再生エネで電力料金
高騰をヘッジしたい

発電所の分かる
電気が使いたい

※1 既存の送配電網によって電気を供給するために発生する、託送料金の基本料金は、ご請求いたします。
※2 季節や曜日、時間帯によって電力使用量の差が大きい場合、特に価格メリットが出やすい傾向にあります。

詳細

- ・東急不動産の100%子会社、株式会社リエネにて法人向け電力供給サービスを展開しております。（電力供給元：デジタルグリッド株式会社）
- ・コーポレートPPAの導入障壁である長期契約（20～30年間）を解決し自治体や企業の手軽な再生エネ導入が実現可能です。
- ・電気の質は、生再エネ/実質再エネ/環境価値なしの3つからお選びいただけます。

取組み事例：地域マイクログリッド(北海道松前町)

取組み概要

- ・リエネ松前風力発電所(本発電所)は北海道電力の「風力発電設備の出力変動緩和対策に関する技術要件」を満たす風力発電所として、初めて運転を開始。
- ・蓄電池システムを利用する事で、風による発電の出力変動を吸収し安定した電力供給が可能。
- ・日本最大の風車となり(2019年4月時点)、また一般家庭約3万世帯分の年間消費電力に相当する10,590万kWh/年の発電量を想定。
- ・非常時(系統遮断時)には風力発電所と大型蓄電池を電源に、松前町全域に電気を供給可能な「地域マイクログリッド(以下、地域MG)」の構築完了。
- ・将来的には松前町の電力消費を100%再エネとする町目標へ貢献を目指す。



導入設備詳細

発電容量	風車発電機：40.8MW(3,400kW×12基) 蓄電池：129.6MWh
電力用途	通常時：FITによる売電 非常時：北海道電力ネットワークの下位系統を利用し対象グリッド内の電力供給が可能となる見通し

事業者	松前ウインドファーム合同会社(出資者：東急不動産)
協力者	松前町、北海道電力ネットワーク、千代田化工建設他
所在地	北海道松前郡松前町
施設名(用途)	リエネ松前風力発電所(発電所)
スケジュール	2019年4月 本発電所 運転開始 2020年7月 地域MGマスタープラン作成開始※ 2022年7月 技術検証を経て地域MG構築開始※ 2023年2月 非常時地域MG構築完了 ※経済産業省補助制度活用

事業スキーム図



取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ・2019年12月、松前町と東急不動産は松前町における風力発電事業の推進と地域活性化、防災基盤の整備に向けて連携していくことに関して協定書を締結。
- ・その一環として、「風」を資源とした大規模な風力発電、それを電源に地域MGを構築することで、クリーンで安全・安心な街づくりを行い、既存産業の活性化や地域振興の推進を目指す。

MORIGURASHI (もりぐらし)

取組み概要

もりぐらしとは？

東急リゾートタウン蓼科「もりぐらし」は、四季折々の体験が楽しめる森のリゾート。1978年に初めて別荘地を分譲して以来、長きにわたって自然との共生を続けてきた。森林資源を核とした「まもる」「つかう」「つなぐ」の、持続可能な地域循環のサイクルを立案し、2017年その取り組みを「もりぐらし」と名付けた。地域循環型の環境づくりを進めながら、新しい過ごし方も、住まい方も、働き方も提案していく。「もりぐらし」が実践するのは、そんな未来への取り組みです。

茅野市等との連携協定に基づき、市内のSDGs・脱炭素の推進に二人三脚で進めます。



<東急リゾートタウン蓼科>



実施対策①「まもる」

■ 森林経営計画を策定

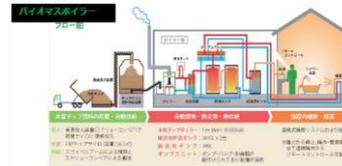
- 林業経営体としての認定を受け、森林状態の現況を調査・把握し、中長期の保全施業計画を立てる事により、タウン内樹木の総成長量850m³の範囲で間伐を実施出来る事となった。
- 補助事業は、林野庁の「合板・製材生産性強化対策交付金事業」を活用し、素材の売り上げと併せて実質負担金無しで、10.9haの間伐を施業できた。(施工金額：11,600,000円相当)



実施対策②「つかう」

■ バイオマスボイラーの導入

タウン内の施設（ゴルフ場）の化石燃料ボイラーを、バイオマスボイラーに入れ替えた。既存ボイラーは、設置後40年経過。灯油を燃料とし、110t/年のCo2を排出していたが、バイオマスボイラーに換装することにより、その全てのCo2排出を抑制できる。(12,500本の成木吸収に匹敵)



実施対策③「つなぐ」

■ 森で食べる

「グラマラスダイニング」
大人数で楽しむBBQや、本格的なテントを導入したグランピングまで、それぞれの楽しみ方に対応できる3種のエリア。森林教育の場や、婚礼会場としても利用。



■ 森と遊ぶ

「フォレストアドベンチャー」
フランス発の自然共生型アドベンチャーパーク。森を森のままに利用できる、子供から大人まで楽しめるパークとして大好評。



■ 森にとまる

「クラスベツ」
昼は別荘住宅展示場、夜は宿泊し新しい別荘体験ができる新業態。蓼科の森に「まるで暮らすように」豊かな時間を過ごすことができる。



事業者

東急不動産、東急リゾート&ステイ

所在

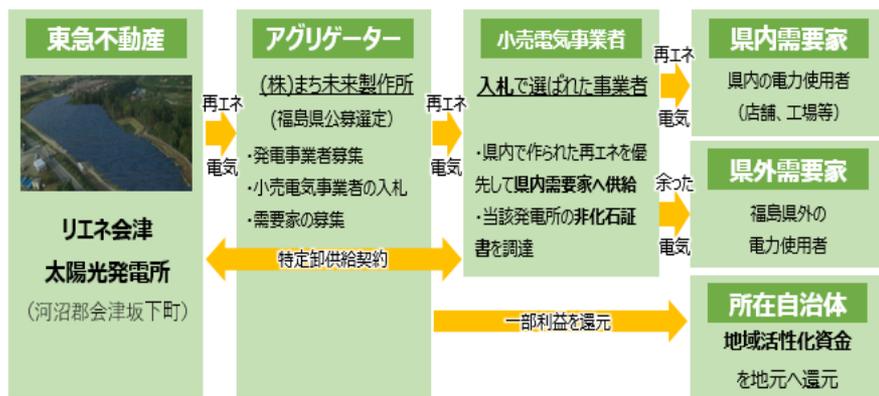
長野県茅野市北山字鹿山4026-2

取組み事例：福島県

取組み概要

福島県内で再生可能エネルギーの「地産地消」を開始（2022年 6月）

- 福島県内に保有する「リエネ会津太陽光発電所」（定格容量：4.7MW）で発電した再生エネルギー電力を、同県内の電力使用者（需要家）に「特定卸供給」の仕組みを活用して供給し、需要家に非化石価値を供与する、地産地消の取組み。
- 一連の仕組みで発生する利益の一部は「地域活性化資金」として、発電施設が所在する自治体等への還元を予定。



事業者	東急不動産
所在	福島県河沼郡会津坂下町
施設名（用途）	リエネ会津太陽光発電所（発電所）

取組み事例：北海道石狩市

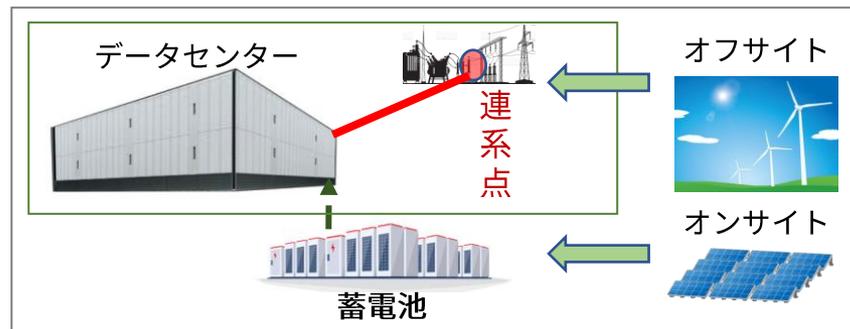
取組み概要

北海道石狩市における再生エネルギー100%で運営するデータセンターの事業化着手（2022年12月）

石狩市が目指すまちづくり

石狩湾新港地域においてデータセンター群及び周辺施設への再生エネルギー供給を行うことにより、産業の集積を目指す。
（同市は脱炭素先行地域の第1回に採択済）

- 再生エネルギー発電源が豊富な地域では使い切ることが困難、大規模需要誘致が必要となることから、再生エネルギー100%で運営するデータセンターの事業化を行う。
- 総務省が実施する「データセンター、海底ケーブル等の地方分散によるデジタルインフラ強靱化事業」における、デジタルインフラ整備基金による間接補助事業に2022年6月、道内で唯一採択済。



事業者	石狩市、東急不動産、Flower Communications、北海道電力
所在	北海道石狩市
スケジュール	2026年 開業目標

リエネソーラーファーム東松山（ソーラーシェアリング・地域共生施設）

取組み概要

地域や事業者と連携して取り組む事例 リエネソーラーファーム東松山（ソーラーシェアリング・地域共生施設）

- 当施設は農業と再エネの実証を行う「実証実験プラットフォーム」です。（2022年12月開業）
- 再エネと農業の実証実験プラットフォームを当社が提供し、事業者の皆様と協働することで未来の「技術発展」「事業拡大」「地域連携」を図る、参加型の共同実証事業を**全12社**で開始しました。（2023年2月開始）
- 地元空き施設のリノベーションを行った発電所近接の「TENOHA東松山」は、実証説明や近隣の方向けのカフェ・コワーキングスペースも設置しています。



ソーラーシェアリングイメージ
実施例の少ない水稲耕作に
取り組んでいます

※パースはイメージです



TENOHA東松山 外観・内観

事業者	東急不動産/運営受託：リエネ/共同実証事業者：リニューアブル・ジャパン他9社
所在	埼玉県東松山市

取組み事例：植物工場×物流施設×再エネ

取組み概要

土地改良事業で11haの農地を8haの植物工場、3haを物流施設へ



事業者	サラダボウル、ジャパン・ビジネス・サポート、プリムローズ、橋本組、東急不動産
所在	埼玉県白岡市

TENOHA（テノハ） 能代・男鹿

取組み概要

地域の資産を活用し、地域の活性化を目指すプロジェクト

- ・地域の廃校や事務所跡地を活用し、シェアオフィス・レンタルオフィス
- ・地域交流スペースとして提供

- ・[みんなでつくるプロジェクト]で家具づくりやランニング&地域の魅力マップ作成など様々なイベントを企画・実施



旧常盤小・中学校跡
〈TENNOHA 能代〉



男鹿駅前の事務所跡
〈TENNOHA 男鹿〉



みんなのリビング

シェアオフィス

事業者

東急不動産 ※プロジェクトチーム（東急不動産、北都銀行、工藤浩平建築設計事務所、See Visions、秋田大学（予定））

所在

秋田県能代市常盤字堂回／秋田県男鹿市船川港船川新浜町

TENOHA（テノハ） 松前

取組み概要

風力発電事業と地方創生・地域共生型まちづくりの拠点

- ・当社は松前町と再エネ事業推進と地域活性化に関する協定を締結し、地域振興・まちづくりの発展に取り組んできました。
- ・本施設は「みんなでつくる、育む」をキーワードに、松前町の地域活性化に向けた新たな拠点となることを目指します。



〈松前町との調和を重視した外装〉



〈緑を取り入れた内装〉

省エネ・再エネ活用への取り組み

- ・松島町内初「ZEB READAY」認定取得
- ・街並みに調和する再エネ機器導入（予定）
- ・厳しい気象環境下での風力、太陽光等先端再エネ機器の実証拠点

地域共生型拠点に向けての取り組み

- ・「まちの駅」認定を受け、バス待合室機能を備えたラウンジや、コワーキングスペース（平日）、イベントスペース（土日祝など）として活用

〈再エネ機器導入イメージ〉

〈バス待合室・ラウンジ〉



事業者

東急不動産

所在

北海道松前郡松前町松城35-4

取組み事例：岡山県玉野市におけるサイトブランディング

取組み概要

- 周辺環境との調和、地元の方々の交流スペースを設けることで、親しみを持って頂ける発電所を目指して『サイトブランディング』を進めています。

サークルベンチ

かまどベンチ



ソーラー照明



<リエネ玉野太陽光発電所 完成イメージ>



事業者	東急不動産
所在	福島県河沼郡会津坂下町
施設名(用途)	リエネ玉野太陽光発電所(発電所)

取組み事例：地域の意識醸成に向けて ReENE ÉCOLE(リエネエコール)

取組み概要

ReENE ÉCOLE 環境教育プログラム

- 日時：2022年1月29日
- 場所：ノースポート・モール(横浜市営地下鉄「センター北」徒歩2分)
- 参加者：144名(当日先着順)
- スタッフはPCR陰性確認済、各種感染症対策を徹底のうえ実施

～温暖化や再エネについて楽しく学ぼう～
パネル展示、iPadでのクイズ形式での学び体験



～マイエコバックをつくろう～
エコバック制作のワークショップを実施
エコバックの工作



～地球のためにみんなががんばれること～
「地球の未来のために頑張りたいこと」を展示



～着ぐるみとの記念撮影～

